

平成24年度 評 議 員 会 議 事 録

日 時：平成24年3月10日（土）15時30分

会 場：北農健保会館 大会議室

出席者：近藤会長、杉本・花田・嶋倉・高橋副会長、紺屋・渋谷
阿部・大江・須田・碓井・三浦・黒田・杉木・濱中
櫻庭・大村・志手・春間常任理事、和田監事、浅野主事
佐藤・川村・持川・二本柳・山上・田村・磯西・糸畑
松本・高橋（考）、外崎・鈴木・柴田・船木・藤沢（浩）
菊地・有野・大西・沓澤・藤田・佐藤・黒澤・本間評議員
（委任出席者）大原・田中・中川・阿部理事

1. 開 会

2. 会長挨拶

北海道バレーボール協会は80周年を迎え、ワールドカップ女子大会や記念式典を実施したが、無事に終える事が出来た。地区協会及び加盟団体の皆様に感謝とお礼を申し上げる。

今日、競技人口や登録チーム数の減少などによる財政の見直しや役員定数の改定など様々な課題がある。平成24年度はこうした課題について方針を固める必要があり、評議員各位の活発な審議を願う。

3. 議事録署名人選出

有野 洋之氏（釧路協会）・沓澤 幸一氏（クラブ連盟）

4. 報告事項

(1) 平成23年度各委員会事業報告

□総務委員会

資料 P2

① MRS 登録者数一覧

資料 P3

② 各種大会参加一覧

資料 P4

③ 登録チーム数一覧

資料 P5

□競技委員会

資料 P6

- ・報告書（9人制活性化担当）について説明する。
- ・実業団・クラブカップ9人制の大会は震災の影響で中止となった。
- ・高校選手権の開催日時について、11月後半と言う意見があるので検討を進める。

□審判委員会

資料 P7

- ・資格審査委員会の業務が審判委員会に加わった。

□一貫指導委員会

資料 P9

（訂正）8.指導者講習会 → 指導者研修会

（追加）8.指導者講習会 ・モデルに国体少年女子選抜チーム

□一貫指導委員会・強化部

資料 P10

① 平成23年度北海道体育協会競技力向上事業決算報告

資料 P11

□一貫指導委員会・指導部

資料 P12

（訂正）3.小学校関係 → 小学生関係

(訂正) ①公認指導員養成講習会 → ②公認指導員養成講習会

(訂正) 9.千歳 北広島市東部中学校 → 恵庭南高校

① 第38回ジュニアキャンプ(一次)開催一覧

資料 P14

(2) 平成23年度一般会計・特別会計決算報告

□平成23年度一般会計報告書

資料 P15

(訂正) 支出の部の下段、残りの 7,261,980 円は平成24年度へ繰り越す。 → 7,268,080 円

□平成23年度特別会計決算

資料 P17

(訂正) 1.基金 ☆収入 3)平成23年度利息 → 2)平成23年度利息

(訂正) 2.財政調整基金 ☆収入 3平成23年度一般会計より繰入 → 繰戻し

□ワールドカップ決算書

資料 P18

□80周年記念事業決算書

資料 P19

(3) 監査報告

資料 P20

(4) その他

5. 審議事項

■第1号議案 平成24年度協会運営の基本方針及び事業計画概要について

(1) 運営の基本方針(案)

資料 P21

承認

昨年の組織検討委員会からの答申を基に、本評議員会において「北海道バレーボール協会」の規約改正(案)を提示する予定であったが、もう少しお時間をいただきその上で臨時評議員会を開催し提案する予定。

<質疑>基本方針の帯同審判員制度について研究するとあるが、イメージが湧かない。

→底辺の拡大を考え研究を進めるが、今すぐ行動に移るわけではない。

(2) 平成24年度各委員会事業計画概要(案)

□総務委員会

資料 P22

承認

① 基金管理・運用の規定化

② 財源確保策の検討(HPバナー広告ほか)

③ チーム・MRS登録の推進

④ 地区協会・加盟団体との連携

□競技委員会

資料 P23

承認

・釧路協会から提出された日本協会宛「第65回全日本9人制バレーボール実業団男子選手権大会に係る地域の幹旋旅行会社の活用について」を説明

・第65回全日本9人制バレーボール実業団男子選手権大会開催要項(案)について説明

・第31回東日本バレーボール大学選手権大会開催要項(案)について説明

・平成24年度天皇杯・皇后杯の開催概要について説明

(訂正) 東日本バレーボール大学選手権 6月28日(木) → 6月27日(水)

(訂正) プレミアリーグ女子大会 3月16日(日) → 3月16日(土)

□審判委員会

資料 P24

承認

(訂正) (4) 公認審判員規定… → (5) 公認審判員規定…

・日B級資格取得審査講習会は大学リーグを活用して10月26日(金)~28日(日)に開催する。

□一貫指導委員会

資料 P26

承認

□一貫指導委員会・強化部

資料 P27

承認

・国体少年の部の強化は基金を活用したい。

□一貫指導委員会・指導部

資料 P28

承認

(追加) 指導部会議 平成 24 年 4 月 7 日 (土) 11 時 00 分～

(訂正) ① 公認指導員養成講習会… → ② 公認指導員養成講習会…

■ 第 2 号議案 基金の創設及び活用事業について

- | | |
|---------------------------|----|
| (1) 財政調整基金規定 (案) | 承認 |
| (2) 特別事業等基金 (案) | 承認 |
| (3) 強化・育成基金 (案) | 承認 |
| (4) 強化・育成基金活用事業 (案) | |
| ① 一貫指導に根ざしたジュニア世代の強化 中期計画 | 承認 |
| ② 審判育成 5 か年計画 | 承認 |
- <質疑> 帯同審判員制度については、数年後に全ての大会に導入できるか疑問だ。
→ 厳しいとは思いますが、まずは行動をし検討していきたい。

■ 第 3 号議案 平成 24 年度一般会計・特別会計予算について

- | | | |
|-----------------|--------|----|
| (1) 一般会計予算書 (案) | 資料 P30 | 承認 |
|-----------------|--------|----|
- (訂正) 収入の部 繰越金の本年度予算及び増減 7,261,980 円 → 7,261,080 円
配賦金の備考欄の選手 2,500,000 円 → 2,400,000 円
雑収入の本年度予算 179,686 円 → 180,586 円
雑収入の増減 -8,105,407 円 → -8,104,507 円
雑収入のその他の本年度予算 178,686 円 → 179,586 円
雑収入のその他の増減 -8,105,539 円 → -8,104,639 円
- (訂正) 支出の部 会議費及び各種会議の前年度実績 174,340 円 → 176,200 円
会議費及び各種会議の増減 65,660 円 → 63,800 円
旅費の前年度実績 1,894,820 円 → 1,891,820 円
旅費の増減 405,180 円 → 408,180 円
各種会議の前年度実績 1,617,160 円 → 1,614,160 円
各種会議の増減 182,840 円 → 185,840 円
合計の前年度実績 18,248,772 円 → 18,247,632 円
合計の増減 39,751,228 円 → 39,752,368 円

■ 第 4 号議案 大会競技日程並びに年次別一覧について

資料 P34、35

承認

- (訂正) 第 63 回北海道大学男女バレーボール選手権大会 → 選抜優勝大会
(訂正) 15. 東日本バレーボール大学男女選手権大会 6 月 28 日 (木) → 6 月 27 日 (水)
(追加) 32. 第 17 回北海道私立高等学校男女バレーボール選手権大会 12 月 22 日 (土) ～ 24 日 (月)
※ 地域リーグを開催していないのは全国 9 ブロック中、北海道と四国のみということから、本年度は第 39 回北海道 6 人制バレーボールクラブ選手権と兼ねて開催する。

■ その他協議事項

- | | |
|-----------------------------------|----|
| ① 北海道バレーボール協会公認審判員規定 (案) について | 承認 |
| ② 北海道バレーボール協会公認コーチ規定 (案) について | 承認 |
| ③ 北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規定 (案) について | 承認 |

6. その他

- 東日本大震災義捐金の報告及び新年度の募集について説明。
- 家庭婦人バレーボール連盟が一般社団法人全国ママさんバレーボール連盟に変更になった事に伴い、北海道家庭婦人バレーボール連盟も北海道ママさんバレーボール連盟に変更となった。

- 松平康隆氏のお別れ会（東京青山葬儀場）に近藤会長の代理で紺屋理事長が出席した。
- 平成 25 年度の V プレミア及びチャレンジリーグの開催について希望があれば紺屋理事長まで連絡を。
- 来年の 3 月 2～3 日で開催される女子プレミアが公募となっている。
- 平成 24 年度から高校のリベロの扱いがシニアと同じになる。

<質疑>日体協の資格の中に「トレーナー」があるが、各競技団体からの推薦が必要だと記載されている。

道協会はどこが所管していて、どういう形で行われるのか。

→所管する委員会はないが、希望者がいれば道協会事務局へ連絡してほしい。

<質疑>公認コーチの登録カード代、1,200 円とあるが、カード代としては高くないか。

→事務手数料だが、表現について改善していきたい。

<花田副会長から>

・北海道バレーボール協会の財源は非常に厳しい状況だ。その一番大きな原因は登録数の減少である。

まずは登録チーム数を増やし、財源を確保して協会組織の安定化を図っていくことが大事である。

7. 閉 会

議 事 録 署 名 人

釧路バレーボール 協会

有野洋之 

北海道73バレーボール 連盟

香取亨一 